

計画策定にあたって



近年の社会状況の変化や、多発する自然災害の教訓、さらには複雑化する新たな課題に対応するため、この度、第3次大崎市地域福祉計画を策定いたしました。

現在の地域福祉をめぐる情勢は、少子高齢・人口減少社会の進展による核家族化、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。

また、家庭や地域が互いに支え合う意識や、地域の絆がしだいに希薄になりつつあるなかで、高齢者が孤立する問題や、子育てへの不安の増大、障がい者に対する理解不足など、福祉を取り巻く環境は一層の厳しさを増し、これまでの公的サービスだけでは対応が困難な状況と認識しています。

このような行政だけでは対応しがたい課題に、市民と地域の関係団体、行政が互いに補完し、話し合いを深めながら、共に支え、助け合い、誰もが安心して暮らし続ける社会の実現を目指し、大崎市流地域包括ケアシステムの構築を推進してまいります。

第3次計画におきましては、「地域の絆と支え合い—このまちに住んでよかったといえるまち・おおさき」を基本理念に、「安心して生活できる地域福祉の推進」、「地域で相互に支え合う仕組みづくりの推進」、「地域のボランティアとコーディネーターの育成・支援」を基本目標として取り組んでまいります。

今後とも「地域で支え合う社会福祉の充実」の実現を目指して、市民の皆様と共に地域福祉の推進に取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たりご尽力いただきました大崎市地域福祉計画策定検討会議委員の皆様方をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました関係各位に心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

大崎市長 **伊藤 康志**